

英語英文学科 3 年

留学先：ニュージーランド・ビクトリア大学

留学期間：2024 年 2 月～2024 年 5 月

今回の留学から学んだことは、行動に移すこと、言葉に出すこと、人の力を借りることの3つです。

まず初めに、行動に移すことです。私は毎週土曜日にステイ先の年上の留学生2人と観光やアクティビティを楽しみました。山登りに行ったり、海に貝殻を集めに行ったり、アザラシに会いに行ったり、野鳥観察に行ったり、ボディタトゥーショップに行ったり、日本では経験できないことに挑戦することができました。また、毎週日曜日は同じ制度で留学に来ている友人と現地を見てまわりました。特に、バスの中で会った現地の人はとてもフレンドリーで、毎日のように挨拶を交わしていました。また、一つ路地に入れば綺麗な建物があつたり、自然があつたりと毎日が素敵な冒険でした。行動することは新しい発見に繋がり、自分の経験値を高めることができるのだと実感しました。

次に、言葉に出すことです。現地の人との会話に「わからない、聞き取れないこと」があつた際は、必ず聞き返すことが重要だと実感しました。わからないまま返答することは、相手にとっても自分にとっても心地よいものではないからです。これは授業にも通用することでした。「わからなかった。もう一度お願い。」この言葉を飲み込んだため、得られるはずだった知識、新しい発見を逃してしまったと覚えることが留学当初にはありました。後悔を繰り返さないためにも、わからないときや疑問に思つた時は必ず質問するようにしました。興味を示したり、話を深掘りしたりする行動は、ファミリーや留学生、先生方にとって嬉しいことだということを知りました。言葉に出すことは自分自身のため、相手のためにもなるということを知りました。

最後は、人の力を借りることです。友人と市内を観光しているときに、ホームレスに声をかけられました。どうすれば良いのかわからず困つていたところ、女性が「何か助けは必要か」と声をかけてくれました。自分たちで解決は無理だと感じたので、すぐに彼女に助けを求めました。私はこの時、友人と共に勇気を出して「助けて」と言えたこと、そして女性がその場を収めてくれたことに感謝しています。何か困難な状況に陥つた時、1人で解決しようとせず、周りの力を借りながら状況を打破していくことも必要なのだと実感しました。

今回の留学で、この三つを学び、自分のマインドを変えることができました。積極的になり、人とのコミュニケーションがより取れるようになりました。語学面では、英語学習の興味が増し、学習に対する取り組み姿勢も一層強くなりました。

